



環境活動レポート



株式会社ホクノー
2016年3月29日
(実績 2014年8月1日～2015年7月31日)



1. 事業所名及び代表者氏名

株式会社ホクノー

代表取締役社長 野地 秀一

2. 所在地

〒004-0014 北海道札幌市厚別区もみじ台北7丁目1-2

3. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 取締役営業推進部長 笹木 嵩 (連絡先 TEL : 011-897-2012 FAX:011-897-2046)

4. 事業内容の概要

食品小売、雑貨書籍販売および不動産、公園施設の管理、飲食

5. 事業の規模 (主要製品の生産量・出荷額・従業員数、事業所の延べ床面積等)

活動規模	単位	26年度
売上高	百万円	売上規模 (3881)
従業員	人	8h換算161人 (総人数257人)
床面積	m ²	4308

6. 環境活動の対象期間と発行日

対象期間 : 26年度 (2014年8月1日~2015年7月31日) レポート発行日 : 2016年3月29日

対象事業所	
(1) 本社	: 札幌市厚別区もみじ台北7丁目1-2
(2) 中央店	: 札幌市厚別区もみじ台北7丁目1-2
(3) 新札幌店	: 札幌市厚別区厚別中央1条6丁目
(4) 厚別5条店	: 札幌市厚別区厚別中央5条6丁目
(5) 厚別東2号店	: 札幌市厚別区厚別東2条4丁目
(6) 厚別北店	: 札幌市厚別区厚別北2条3丁目
(7) もみじ台南店	: 札幌市厚別区もみじ台南6条1丁目
(8) もみじ台ショッピングセンター直営店 (リビングもみじ台、だいいち)	: 札幌市厚別区もみじ台北7丁目1-2
(9) 牛角ウエスタンパワーズ店	: 旭川市永山12条3丁目
(10) 串家物語ラフィラ店	: 札幌市中央区南4条西4丁目1番地
(11) ホクノー園	: 札幌市厚別区下野幌2006番地

7. 環境方針

環境基本理念

当社は地球環境に関する責任を厳粛に受け止め、企業活動と環境との調和を図り、環境汚染の防止、資源の有効利用に継続的に取り組み、より良い社会の実現に努める

環境方針

1.事業活動及び当社の製品が与える環境負荷と取り組みの成果を的確に把握し、当社の事業活動にふさわしい以下の環境活動を実施します。

- ① 消費エネルギーと資源の削減
- ② 投入資源の削減
- ③ 廃棄物の減量と再利用
- ④ グリーン購入の推進

2.環境目標を設定し、適切性維持のため、毎年見直しを行い、環境経営システムを継続的に改善するとともに、自主的、積極的に環境への取り組みを行い、継続的な環境負荷の削減につとめます。

3.環境に関する法令や条例、その他規制を受ける事項を順守します。

4.全従業員が環境方針を理解し、自らの役割を十分に認識し、本方針に沿って活動が行われるよう環境教育を進めます。

2014年8月1日
株式会社ホクノー
代表取締役社長 野地秀一

8. 環境目標とその実績

(1) 中期環境目標

項目	26年度目標	27年度目標	28年度目標
消費電力の削減 3258656KWh/25年度	前年対比 0.2%削減	前年対比 1.0%削減	前年対比 1.0%削減
水道水使用量の削減 11208 m ³ /25年度	前年維持	前年維持	前年維持
一般ごみ排出量の削減 37.7 t/25年度	前年対比 0.2%削減	前年対比 0.2%削減	前年維持
コピー用紙使用量削減 86564 円/25年度	前年維持 マイバック等持参率 90%	前年維持 マイバック等持参率 90%	前年維持 マイバック等持参率 90%

(2) 今年度の目標とその実績

項目	26年度目標	26年度実績
消費電力の削減 3258656KWh/25年度	前年対比 0.2%削減	2891756KWh 旗艦店改装効果、目標達成
水道水使用量の削減 11208 m ³ /25年度	前年対比 維持	10204 m ³ 前年対比 9%削減
一般ごみ排出量の削減 37.7 t/25年度	前年対比 0.2%削減	39.1 t 売上増による排出量増
コピー用紙使用量削減 86564 円/25年度	前年対比 維持	114460 円 売上増による経費増
レジ袋使用量削減	マイバック等持参率 90%	目標達成

二酸化炭素総排出量2,416,364.9kg（北海道電力の温室効果ガス排出係数：0.683kg-CO₂/kWh）

9. 主要な環境活動計画の内容

(1) 消費電力の削減

- ① 不用照明の消灯をする。
- ② 開店前、開店後の店内照明は3分の1とする。
- ③ スポット照明は開店前、閉店後は消灯する。
- ④ 蛍光灯のメンテナンス、チラツキ蛍光灯は電力消費が大きいので、速やかに交換する。
- ⑤ 屋外照明の点灯、消灯事項を調整する。

A) 通常期	4月～10月	PM6:30点灯	閉店時消灯
B) サマータイム	7月～8月	PM7:00点灯	閉店時消灯
C) 冬季	11月～3月	PM4:30点灯	閉店時消灯

※タイマー設置店は期間で必ず確認の事。未設置点は上記設定時刻に準ずる。

(2)水道使用量の削減

・水道の正しい使い方

- ① 蛇口は全開しない。（吐水量1分間に約30リットル出ます）
- ② 蛇口ハンドル回転角度は90度～360度までとする。（吐水量がもっとも効率的です。）
- ③ 水、お湯の出しっぱなしでその場を離れない。
- ④ ため置き洗いを徹底する。

・女性用トイレの擬音装置の活用

- ① 節水のため、必ず乙姫センサーに手をかざすこと。（1回の使用で約8リットルの節水になります）

(3)一般ゴミ排出量の削減

- ① 札幌市環境事業公社の分別基準に従い分別する。
- ② 各ゴミ置き場の分別表示を基に排出する。
- ③ リサイクル資源ゴミも上記公社基準に従い分別する。
- ④ 体積減量のため出来るだけ圧縮する。
- ⑤ 一般ゴミは札幌市環境事業公社に回収依頼する。
- ⑥ 生ゴミは札幌市環境事業公社に回収依頼する。
- ⑦ 資源リサイクルゴミは札幌市環境事業公社に回収依頼する。

(4) コピー用紙使用量削減

- ① 会議資料は裏面印刷で使用枚数を削減する。
- ② 連絡、報告事項は紙ベースでなくホクノーweb 掲示板を利用する。
- ③ ミスプリント用紙は裏面コピーで再利用する。

(5) レジ袋使用削減

マイバッグ等持参率向上によるレジ袋削減に向けた取組みに関する協定締結。

三者協定（事業者、市民団体、札幌市） 平成20年 9月 3日締結。

【1】協定の概要

A)協定の目的：ゴミ減量と二酸化炭素の削減を推進し、循環型社会の実現と地球環境の保全を図ることを目的とし、市民、事業者、行政が協働して、札幌市内で利用されるレジ袋の削減を目指す。

B)協定の役割：マイバッグ等持参率の目標を設定した上で、マイバッグなどの持参促進及びレジ袋の有料化(1枚3円)による削減を積極的に取組む。

C)マイバッグ等持参率目標設定

<25年度> 90% <26年度> 90% <27年度> 90%

【2】レジ袋有料化（1枚3円）によるレジ袋の販売代金は北海道CGCみどりところの基金を通じて、環境保全活動や地域貢献活動などに還元し、その内容を公表する。

【3】 23年度マイバック等持参率実績～レジ袋無料時のマイバック持参率 25%

レジ袋有料化取組後のマイバック等持参率

平成26年8月	89.9%	平成27年2月	89.8%
平成26年9月	90.1%	平成27年3月	89.7%
平成26年10月	90.2%	平成27年4月	90.3%
平成26年11月	90.4%	平成27年5月	90.4%
平成26年12月	89.5%	平成27年6月	90.1%
平成27年1月	89.4%	平成27年7月	90.4%
年間マイバック持参率 90.0%達成			

【4】 詳細は下記ホームページ公表中

- A)北海道CGC 緑とこころ基金
- B)札幌市環境局環境事業部ごみ減量推進化

10. 環境活動の取組み結果の評価

(1) 消費電力の削減

旗艦店中央店の全面改装時、省エネ機器、照明の全面LED化で削減に努力した。日々の朝礼、ミーティング等での繰り返し教育で従業員の意識向上を図り節電に努力した。目標達成であったが、更なる削減に努力する。

(2) 水道使用量の削減

むだの排除で節水に努め、更なる節水の徹底を図った。目標の達成、更なる削減に努力する。

(3) 一般ゴミ排出量の削減

焼却ごみの徹底分別を徹底し目標未達成。更なる削減に努力する。

(4) コピー用紙使用量削減

使用量の削減に努めた、結果目標未達成。更なる削減に努力する。

(5) トレーの回収

中央店、新札幌店、厚別東5条店、厚別東2号店、厚別北店、もみじ台南店の6店で回収。ボックスを設置して実施している。

(6) 発泡スチロールの再資源化

発泡スチロールの減溶機を購入し、発泡スチロールの再資源化を実施している。

(7) ホクノー園についての環境負荷は微増である。

(8) 25年度マイバック等持参率目標90%に対し 90%の実績結果目標を達成した。更なる持参率の向上に努める。

11.環境活動での更なる削減目標

- (1)今後、全社的に既設冷蔵設備関連の老朽化で節電に限界が来ている為、省エネタイプに取替検討と照明設備については、LED 照明に切り替えを検討し二酸化炭素排出量の削減に努力する。
- (2)平成27年12月旗艦店、中央店全面改装、省エネ機器、LED照明等設備一新で二酸化炭素排出量の削減を図る。

12.認証、登録対象範囲の全社的取組み拡大(牛角、串家の取組み拡大)の実施時期は25年度より実績を反映し、削減に取り組んでいる。

13.食品廃棄物等の再生利用の実施率は88.03%。これは旭川市所在の牛角ウエスタンパワーズ店の生ゴミが旭川市のルールに従って現状では焼却となっているためである。食品廃棄物等の発生量は49.3tで、再生利用等の実績は再生利用43.4t焼却5.9tである。基準実施率の80%を超えているので現状維持として改めて目標値の設定をしないが、減量に努力する。また、グリーン購入はルールを決めて実施しているので改めて目標の設定をしない。

14.環境関連法規への違反、訴訟等の有無

- (1)罰則、行政指導に関わる義務規程について、違反及び関係機関から指摘はなかった。また、訴訟等も1件もなかった。

15.代表者による全体評価と見直しの結果

- (1)環境方針の改訂はありません。ただし、環境目標・環境活動計画・環境経営システムの方向性をいま一度確認していく。引き続き法令遵守、地域貢献を念頭に行動していく。
特に高齢化社会における地域環境の保全を考慮したい。
- (2)環境目標は、人的な目標設定では限界が来ているため、ハード面の見直しを平成26年4月より段階的に店舗照明のLED化を実施中、更なる省エネ化を図り、高い目標をクリアしたい。
- (3)環境活動計画について、各拠点における管理者の責任が重要と考える。管理者会議等でPDCAサイクルに基づき、計画を明確にして着実に遂行したい。
- (4)環境経営システムを通じて、生産性の向上に努めたい。